

# 鹿本高校SSH通信 Vol.52



SSH  
Super Science High school

## 第2回 SSH 職員研修を実施しました

6月10日(水)の15:30~16:30に、第2回 SSH 職員研修を行いました。講師として、天草高校 SSH 研究主任の宮崎 一先生にお越しいただき、評価の実践事例と研究ポスターの表現の向上指導についてお話いただきました。

研修では、面談による評価活動の具体的な声掛け等を映像資料等でご提示いただき、大変勉強になりました。次に、実際の課題研究ポスターを題材に、その表現の変遷をクイズとして出題し、正解を示された後、生徒がどのような意図を持ってポスターを改善していったのかを説明され、ポスター表現のポイントを分かりやすく示していただきました。

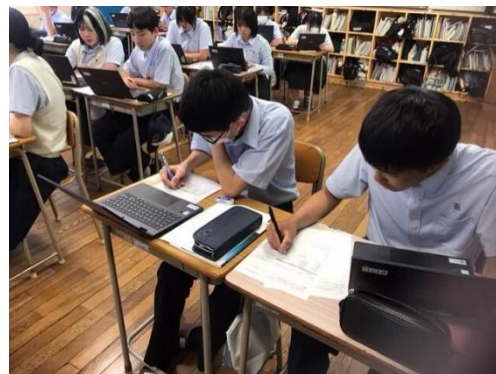


ワークショップに取り組む本校職員

## 1年生がYSPアカデミアでデータ分析の基礎を学びました

6月10日(水)に、1年生がYSP アカデミアにおいて、前回学習した「研究テーマ、先行研究、仮説、調査・実験までの課題研究の流れ」を復習した後、調査・実験において得たデータをどのように扱うのかについて学びました。

まず、生徒は、「高校1年生100人のスマホ使用時間と数学の成績の関係」という架空のデータを見て、ランダムな生の数字だけでは、そのデータの特徴や傾向がつかめないことを実感し、次にそのデータをスマホの使用時間で並べ替えることで、その特徴や傾向が見えてくることを確認しました。しかし、データの羅列だけでは目的とする特徴が一目で見えづらいことから、使用時間帯と人数、平均点の表やグラフを作成することで、一目でこのデータの特徴が見えてくることを体験していました。さらに、一歩進んで、ツールとしての相関係数や検定、散布図と回帰分析の説明を受けました。



データ分析というと難しく感じられますが、本校では、生徒は先ず、表(クロス集計)やグラフの作成、相関係数、検定、回帰分析をツールとして、体験をととして学びます。原理については、数学や情報で学ぶ予定です。本校のⅡ期の目標は「つなぐ探究」です。様々な知識、経験をつなぎ、それを意識と結びつけ、将来の科学技術人材育成へとつなげたいと考えています。

グループやペアで表や  
グラフの作成に取り組  
む生徒たち

